

2024 年度

事業シート

事業名		敬老祝金等支給事業						事業開始年度		1971								
上位施策事業名								担当局・部名		福祉部								
根拠法令等		入間市敬老祝金等支給条例、老人福祉法						担当課・担当名		高齢者支援課・高齢者支援担当								
事務区分		■自治事務 □法定受託事務						作成責任者		岩田孝弘								
実施の背景		昭和46年度に、77歳以上の市民に毎年給付する敬老年金として開始。																
目 的 (何のために)		永年社会に貢献されてきた方々に敬老の意を表するため。																
事業概要	対 象 (誰・何を対象に)	【敬老祝金・祝品】①当該年度中に77・88・99歳に達する者で、9月15日において市内に1年以上居住し、かつ入間市に住民票がある者【100歳祝】当該年度中に100歳に達し、当該年度の9月15日に存命の者。						対象者数（全住民に対する割合） 3,478 人 (2.41 %)										
	実施方法	■直接実施																
		□業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者： ）																
		□補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）																
		□貸付（貸付先： ）□その他（ ）																
事業内容 (手段、手法など)	事業内容																	
	【敬老祝金・祝品】 ●77歳：狭山茶（1,080円）、88歳：5,000円、99歳：10,000円を支給する。 ●住民基本台帳より支給対象者を抽出する。 ●祝金等の配布は、在宅の方へは市民生委員・児童委員協議会委員に配付を依頼し、施設入所者等については市職員で配付している。 【100歳祝】 ●国からの祝状及び記念品、市からの祝状（額付き）を贈呈する。 ●住民基本台帳より支給対象者を抽出する。 ●国からの祝状及び記念品に市からの祝状を併せて、市職員が対象者宅に届ける。																	
関連事業 (同一目的事業等)	100歳の方へ国から祝状及び記念品を贈呈																	
コスト			2024 年度（予算）			2023 年度(決算)			2022 年度(決算)			2021 年度(決算)						
	事業費合計		8,335 千円			7,074 千円			7,105 千円			7,086 千円						
	事業費内訳 (2023年度分)		【敬老祝金・祝い品】 ●77歳：狭山茶1,080円×1,942本=2,097,360円、88歳：5,000円×822人=4,110,000円、99歳：10,000円×52人=520,000円 ●祝金・祝品に附随する費用：のし袋印刷代20,988円、祝状印刷封入業務委託92,235円 ●市民生委員・児童委員協議会委員による支給関係費：保存袋15,856円、手提袋13,557円、動産保険料5,000円 【100歳祝】 ●祝状筆耕料39,928円、賞状額99,110円、風呂敷59,565円															
	人件費	担当正職員	0.18	人	1,422	千円	0.19	人	1,501	千円	0.16	人	1,264	千円	0.16	人	1,264	千円
		臨時職員等	0.2	人	280	千円	0.17	人	238	千円	0.26	人	796	千円	0.26	人	796	千円
		人件費合計	0.38	人	1,702	千円	0.36	人	1,739	千円	0.42	人	2,060	千円	0.42	人	2,060	千円
	総事業費		10,037 千円			8,813 千円			9,165 千円			9,146 千円						
	財源 内訳		国県支出金															
国県支出金の内容																		
地方債						千円						千円						
			千円						千円									
その他特財			その他特財の内容															
一般財源			10,037 千円			8,813 千円			9,165 千円			9,146 千円						
財源合計		10,037 千円			8,813 千円			9,165 千円			9,146 千円							

事業シート

事業名		敬老祝金等支給事業				事業開始年度		1971	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		敬老祝金支給人数			人	874/874	760/760	739/739	
						/	/	/	
						/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費	/	支給人数	円	10,084	12,059	12,736	
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	敬老祝金を支給対象者に漏れなく支給する。							
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度	
		敬老祝金支給率			%	100/100	100/100	100/100	
						/	/	/	
						/	/	/	
自己評価		廃止・凍結		国・県・広域		☒ 要改善		現行通り・拡充	
評価の内容		多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者の長寿を祝うとともに、市民生委員・児童委員協議会委員の方が手渡しすることで対象高齢者の安否確認を行うこともできている。 敬老祝金事業は、昭和46年の事業発足時とは長寿に対するイメージが変わってきていることもあり、これまでに支給対象や支給内容が何度か見直されている。今後、高齢化が増していく状況のなかでは対象年齢や支給方法について定期的に検討をしていく必要がある。							
課題	2023年度	支給対象者が年々増加していく中で、敬老祝品を配付する市民生委員・児童委員協議会委員の負担が多くなっている。							
	2024年度	支給対象者が年々増加していく中で、敬老祝品を配付する市民生委員・児童委員協議会委員の負担が多くなっている。							
今後の予定		対象年齢や支給方法について検討を行っていく。							
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		県内各市への調査（令和4年時点）：該当年齢の方に、祝金または商品券などを贈呈する事業を、39市中33市が実施している。 近隣市の状況 所沢市 実施していない。 狭山市 実施していない。（祝金の支給を平成28年度に廃止し、平成29年度からは商品券の配付に変更したが、これについても令和元年度をもって廃止した。）							
特記事項									